

# 地域ぐるみで子育てを!!

宇陀市も少子化傾向にあり、それぞれの地域で遊ぶ子ども達の姿が少なくなっています。また、虐待や学校等でのいじめや体罰、そして誘拐など、子ども達の幸せと人権を脅かす出来事が多く起こり、子育てには不安感が大きくなっています。

昔から『子どもは国の宝』と言われていますが、子ども達を地域ぐるみで安心して過ごせるように見守っていただけたらと思います。

## 虐待と思われる事があったら、連絡・通報してください。



子どもの虐待を発見したり、著しく子どもの様子や泣き声に変だと感じたら、市町村の担当窓口や児童相談所、福祉事務所に連絡してください。地域に住む私たちには、関係機関へ通告する義務があります。

直接目撃していなくても、体に殴られたようなあざや切り傷をつけた子どもがいる、汚れた衣服を着て食事を与えられていないような子どもがいる、子どもが長時間戸外に出されている、子どもの姿は見えないが火がついたように泣いている、小さな子どもを家において両親が外出して子どもの世話をしていない……。このように、著しく様子がおかしい、適切な養育を受けていない子どもがいるようだ気づいたら市町村の担当窓口や児童相談所、福祉事務所に連絡してください。

## 子育て中の親子に、やさしいまなざしを

ご近所や外出先で出会った子育て中の親子に、やさしいまなざしをお願いします。困っている親子を見かけたら、声をかけてください。

## 子育てに悩んでいる人は、ひとりで抱え込まずに相談を

昔から「三つ子の魂百まで」といわれてきましたが、人間の子どもは、生後3年間で人格や言語能力などがほぼ形成されます。

赤ちゃんが最初に学ぶことは、「口から食べ物を取り入れ、肌の接触で人の温かさを取り入れ、耳からは優しさを取り入れ、目で自分の世界を取り入れていく」といわれています。子どもはいつも温かく見守られ、人間として躾や教育を受けて育つよう、宇陀市のみんなで育てていきましょう。

